保健室

静岡市立蒲原東小学校

養護教諭　村松綾子

本校は静岡市東部に位置し、南に駿河湾、北には富士山を望む風光明媚な所です。以前は、庵原郡蒲原町でしたが平成18年4月より合併され静岡市となりました。学区内には、大きな日本軽金属蒲原工場があり、住民の多くの方が日軽金と繋がりをもっています。春の桜の季節には、学校の北側にある桜の名所「御殿山」はきれいなピンク色に染まり、夜もライトアップしてその美しさを楽しませてくれます。

このような恵まれた環境にある本校は、全校児童337人（通常学級12クラス特別支援学級2クラス）の中規模の小学校です。子ども達は、元気で人なつっこく、休み時間にはドッチボールやサッカー、遊具で遊ぶ子などで運動場はいっぱいになります。友達を大切にし仲良くしようとする子どもも多く、けがをした子や体調の悪い子をおんぶして連れてきてくれる事もたびたびあり、心温まる光景です。

6月4日の虫歯予防デーにちなんでの取り組みでは、保健集会を行っています。今年は、学校歯科医の先生と保健委員会で"教えてハピカ先生"という劇を行いました。学校歯科医の先生がハピカ先生として登場してくださり、歯磨きの大切さをお話してくださいました。お忙しい中、昼休みに何回も保健委員との劇の練習に来校してくださり、保健集会は保健委員の頑張りと学校歯科医の先生のおかげで大成功に終わりました。秋には、ハピカ教室を開き歯科の再検査を行ってくださいました。また、衛生士さんによる歯磨き検査も同時に行われました。

学校医の先生には、インフルエンザの事など相談にのっていただいたり、持久走記録会前には希望者に健康診断を実施してくださったりしています。学校保健委員会の際には、学校薬剤師さんを講師に迎え「病気の予防」～タバコ・酒の害について考えよう～を、カイワレの実験やパワーポイントを使ってわかりやすく教えていただきました。

このように、学校医さん学校歯科医さん学校薬剤師さんにたくさんのご協力をいただきながら本校の保健活動は行われており、心より感謝しております。

これからも子ども達一人ひとりを大切にし、そしてまた、子ども達が健康で安全な生活を送る事ができるよう、養護教諭として心からの温かい支援を心がけていきたいと思います。

掛川市立栄川中学校

養護教諭　松下和美

本校は掛川市東部に位置し、清流逆川（さかがわ）のほとりにあります。その逆川の上流には粟ヶ岳があり、校区には旧東海道の宿場町である「日坂宿」や「夜泣き石伝説」で知られる小夜の中山がある等、歴史的につながりの深い自然に囲まれた学校です。

この中学校区（幼稚園一園・小学校二校・中学校一校）では、現在「幼小中連携・一貫教育研究」を進めており、研究組織の中に保健研修部があります。この保健研修部では、テーマを「連携」として研修を進めています。

具体的な取り組みとして、大きく二つ上げられます。一つめは、幼稚園から中学校までの十二か年を見通した性に関する指導です。幼稚園から中学三年まで、一貫性のある指導を行うために、系統的かつ計画的な年間指導計画と指導案を私たちで作成し実践しています。特色としては、助産師を講師に招いて、小学校二年生に対し合同で実施した「おへそのひみつ」。小学校養護教諭による幼稚園での清潔指導。中学校の養護教諭とスクールカウンセラーによる小学校での思春期講座等があげられます。昨年度私は、校区内の小学六年生に思春期講座を実施しました。親に反抗したり、自分の容姿を気にしたりする中学生の悩みが書かれた手紙を取り上げ、思春期に起こる自我や異性への目覚めについて学習しました。授業前アンケートから、家庭内で問題を抱えている児童を見つけ、早期に対応した結果、不適応行為が解消された事例も見られました。本校に入学する子どもたちは、幼稚園から単学級という固定化された小集団の中で過ごしてきているため、中学校の新しい環境に適応できず、登校渋りにつながるというケースも見られます。その予防的指導として、中学生の本音や悩みを身近で把握することのできる養護教諭が、六年生に対して心の健康教育を実施することは、新しい環境への不安を解消するという意味で、とても有効であると思いました。

二つめは、家庭に向けた啓発です。これまでに、「家族腕相撲大会」等を企画し、親子でふれあうことの大切さを呼びかけてきました。今年度は、家族で取り組む「ノーメディア週間」も実施しました。取り組み易くするために、難易度の違う三つのコースを設けて、そこから各家庭にあったコースを選択し実施できるようにしました。実施後、保護者からは、「日々の生活の振り返りや自分を見つめ直す時間ができてよかった。」等の感想が聞かれました。

私は、中学校区の養護教諭が連携して、学区の子どもたち全員を対象に、保健指導や保健管理ができることの成果は大変大きいと感じています。今後も、一貫教育研究だからこそできる保健研修を進めて行きたいと思います。

第35回 学校保健セミナー講演会のお知らせ

演　題　「(仮)小児生活習慣病の現状について」
講　師　県西部浜松医療センター　小児科医長　遠藤　彰　先生
日　時　平成22年1月28日(木)13:30～15:30
会　場　静岡県看護協会　第1研修室　静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3F
主　催　財団法人静岡県予防医学協会･静岡県学校保健会
後　援　静岡県教育委員会･静岡県私学協会
申込み　FAXで、静岡県予防医学協会静岡本部へ1月21日まで　(FAX054-278-7717)

訂正とお詫び

前号「保健室」内田智子教諭の紹介で学校名を富士宮市立富士根小学校と誤って掲載しましたが、正しくは富士宮市立富士根南小学校です。ここに訂正させていただきますとともに謹んでお詫び申し上げます。

静岡県総合健康センター

すこやかセンターだより 32

しずおか健康いきいきフォーラム21だより

＜しずおか健康いきいきフォーラム２１＞は、静岡県が策定した健康づくり運動指針「しずおか健康創造２１」の理念に賛同する官民59組織で構成され、県民総参加の健康づくり運動を推進しています。

今年度も「ポスター・標語・川柳コンクール」を実施し、県民の皆さんから 4,290 件もの御応募を頂きました。各部門の最優秀賞作品を御紹介します。

第7回テーマ:『やさい大好き』

ポスター部門　最優秀賞

浜松市立雄踏小学校　船越晴也さん

興誠中学校　鈴木夏帆さん

静岡市立商業高等学校　加藤汐里さん

標語部門　最優秀賞

「シャキシャキの　野菜ムシャムシャ　ぼく元気」　熱海市立多賀小学校　森野祐矢さん

川柳部門　最優秀賞

「じいちゃんが　育てたオクラ　へそまがり」　静岡市立井宮小学校　木場拓人さん

人間ドック予約システム稼働！

このたび、当協会総合健診センター（ヘルスポート）では、初めてヘルスポートをご利用される方を対象に、人間ドック予約システムを開始しました。ご予約はホームページからできます。今まで当協会人間ドックをご利用いただいている方は、従来どおり電話にてお申し込みくださいますようお願いします。

アドレスはhttp://www.shsa.netです。

「けんこう静岡」は、当協会ホームページから見ることができます。